

主要事業マネジメントシート

部局名 教育委員会事務局

事業名	骨太の英語力養成事業				／ 担当室課 教育振興室 高等学校課				
予算額	H24 H25	千円() 千円()	H26 H27要求	26,027 千円() 24,617 千円()	26,027 千円() 24,617 千円()	実績	H24 H25	千円() 千円()	
事業の優先性	<input checked="" type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】 (項目名: 教育) <input checked="" type="checkbox"/> 成長戦略 (項目名: 人材力・活躍の場づくり) <input type="checkbox"/> その他 (項目名:)				<input type="checkbox"/> 人口減少関係 (項目名:) <input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン (項目名:)				
事業選択	役割分担	民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他 (理由) 府立高校対象の事業であるため		行政としての役割	<input checked="" type="checkbox"/> 府の役割 <input type="checkbox"/> 国の役割 <input type="checkbox"/> 市町村の役割 (理由) 府立高校生の英語4技能を高校3年間で英語圏の大学で修学できるレベルに引き上げるため			
	事業手法	手法の妥当性	府立高校17校にSuper English Teacher (SET)を配置すること、及びTOEFL iBTを扱った授業を導入するという手法は、効果が見込まれ適正であると考えられる。						
		受益と負担	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準: 生徒への海外研修における旅費の負担) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由:) <input type="checkbox"/> 受益者負担になじまない						
	事業間調整	将来のリスク管理	特になし						
		庁内での連携	特になし						
事業効果	目標・指標	(事業目標)	府立高校生の英語4技能を高校3年間で英語圏の大学で修学できるレベルに引き上げること				-目標に達しなかった場合の改善方策 事業の内容の見直しを検討する。		
		(指標)	・TOEFL iBTのスコア <input checked="" type="checkbox"/> 各校2学級生徒80人中 80点以上 5~14人 60点以上42人以上 <input checked="" type="checkbox"/> 各校の英語教諭の内 90点以上2人または100点以上1人		(実績)				
	(事業期間)	H 26 ~ H 30以降延長あり							
	コスト分析	(指標)							(コスト分析結果)
		H24(フルコスト)	千円 / (分析単位)	=	千円				
		H25(フルコスト)	千円 / (分析単位)	=	千円				
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合等に記入> ・指定校17校にて、先進事例調査研究、書籍購入、TOEFLまたはIELTS受験、報告書を提出。iBT特設レッスンとTOEFL iBTチャレンジを実施中。 ・指定校17校校長連絡会実施(4/4、8/28)、モデルシラバス提示(8/28)、教員研修6回実施(4/18、5/16、6/13、7/4、8/1の午前・午後)。								